

経営比較分析表（令和3年度決算）

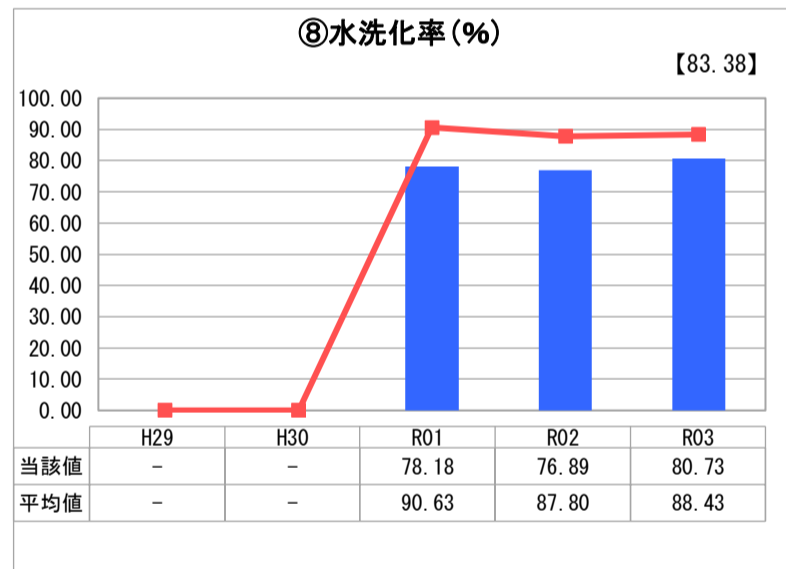
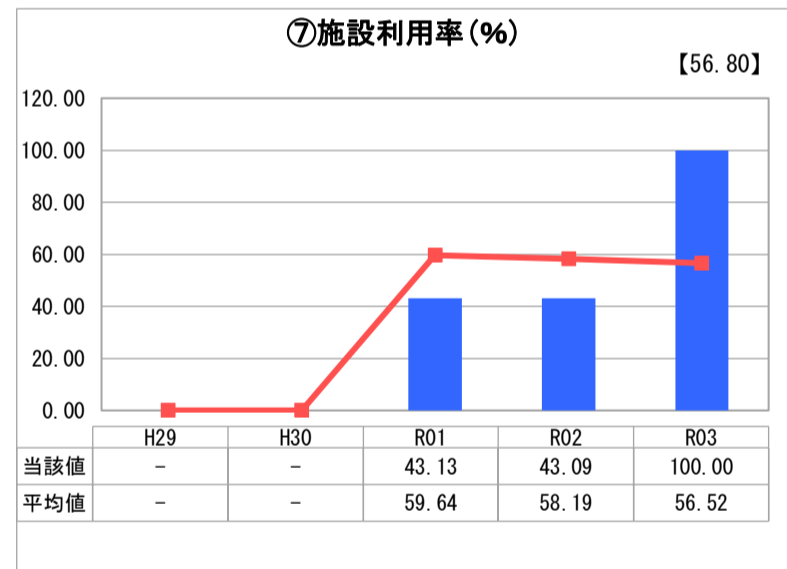
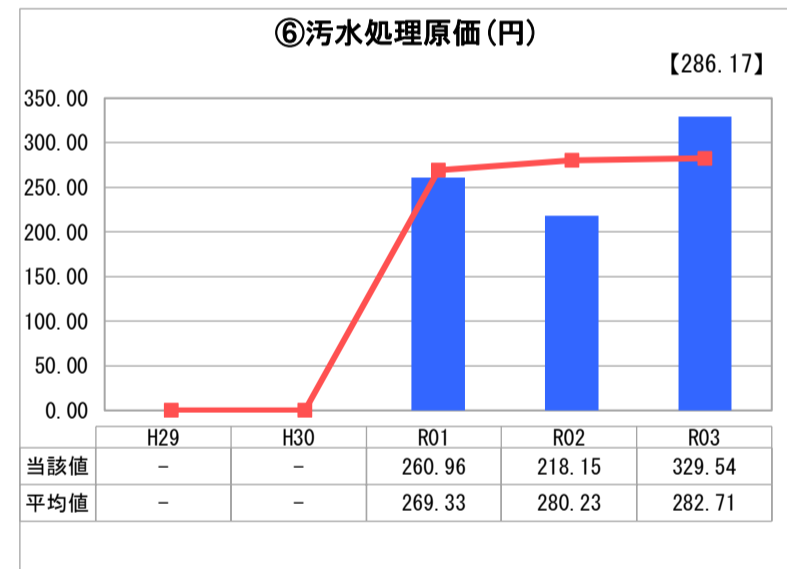
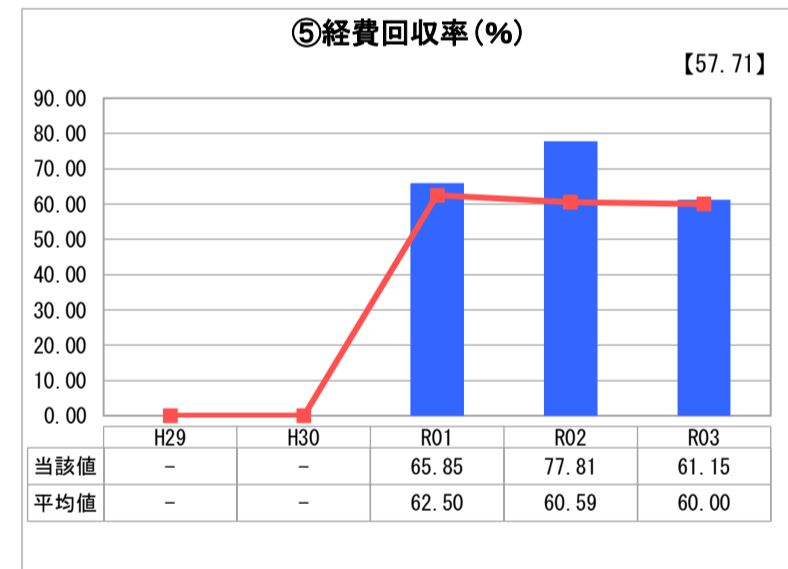
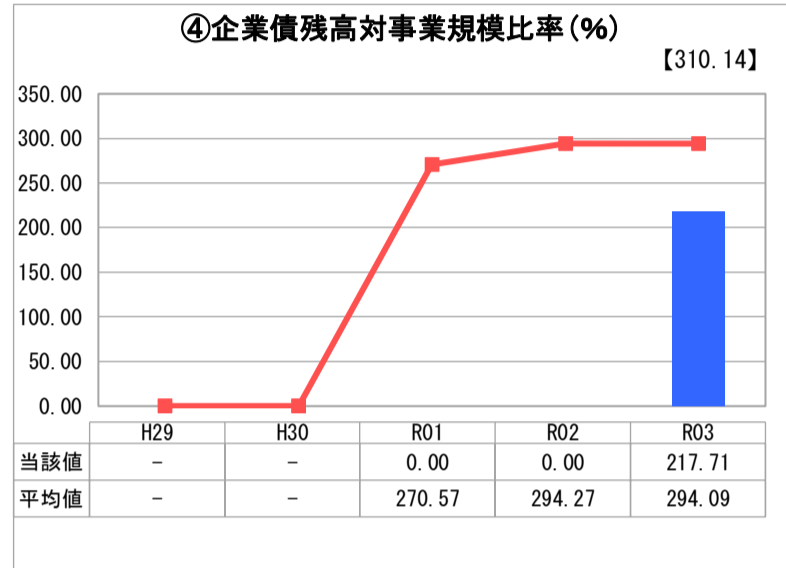
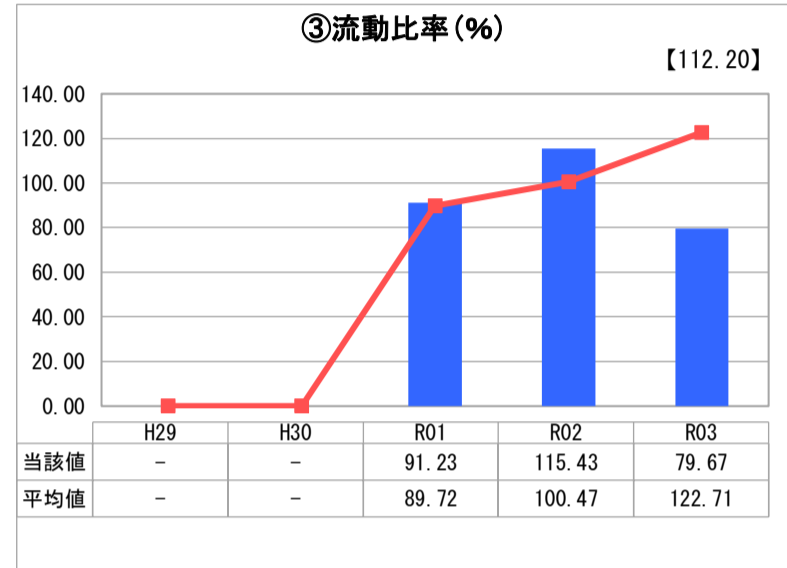
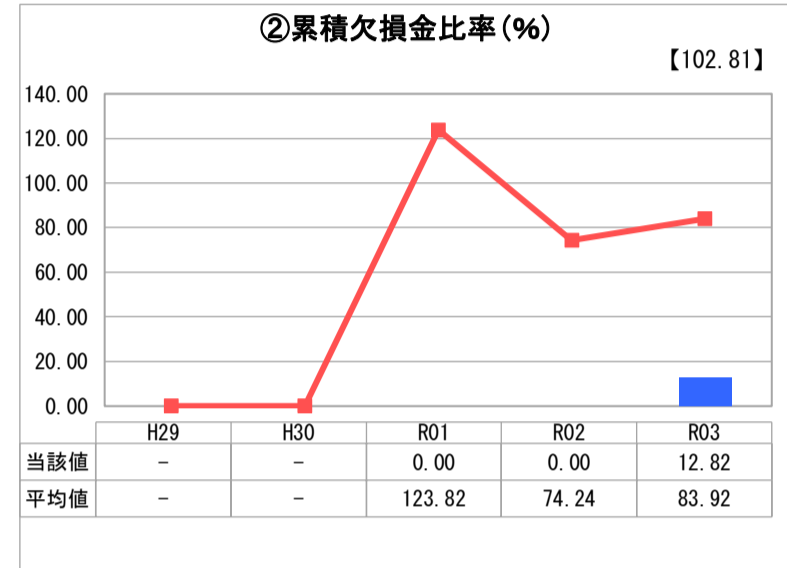
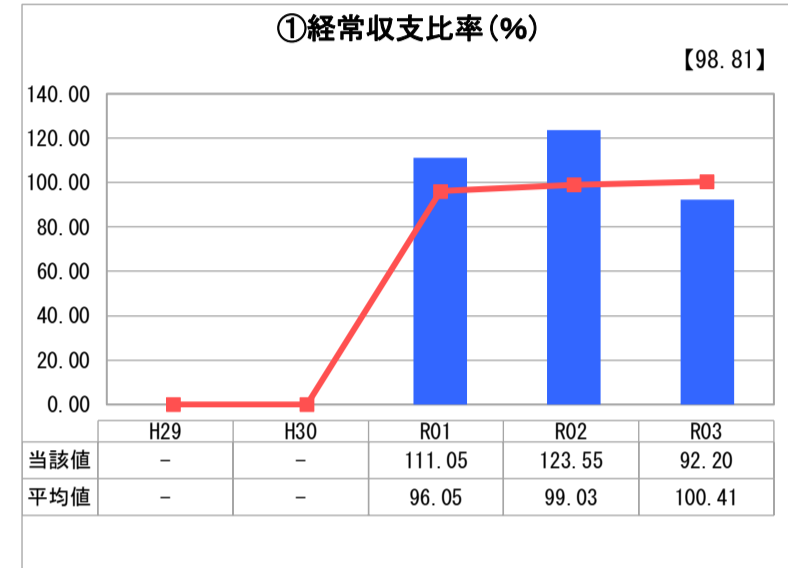
鳥取県 日南町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	63.22	56.29	100.00	4,090

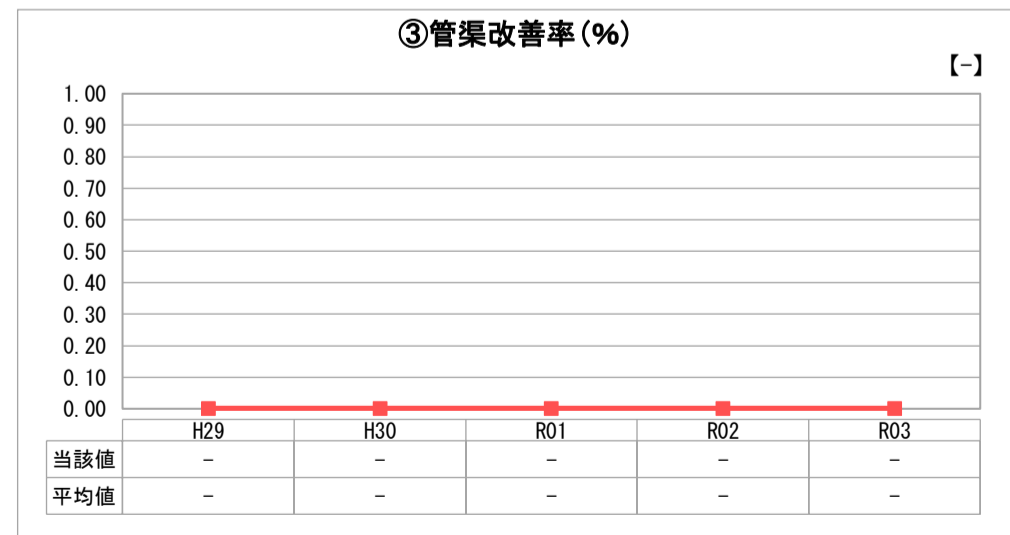
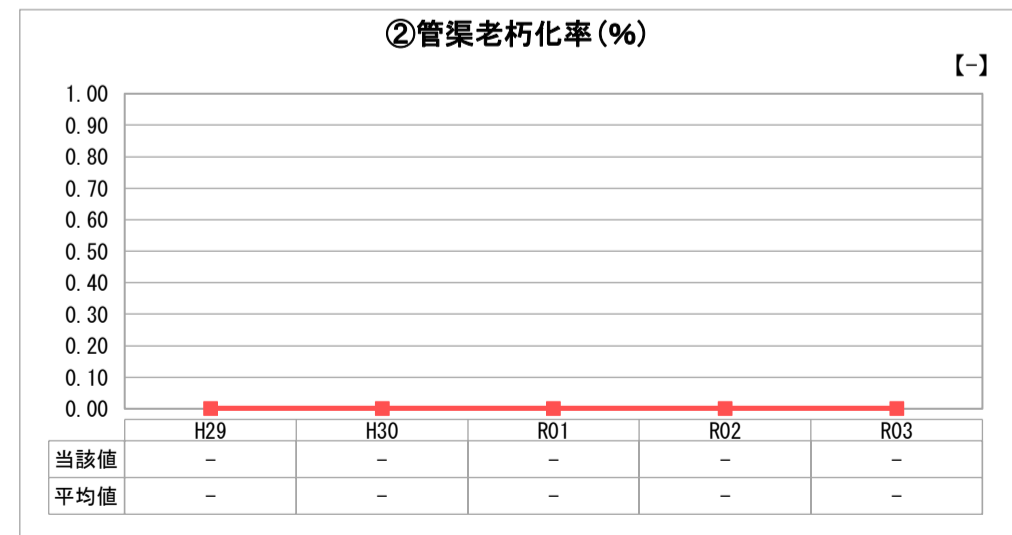
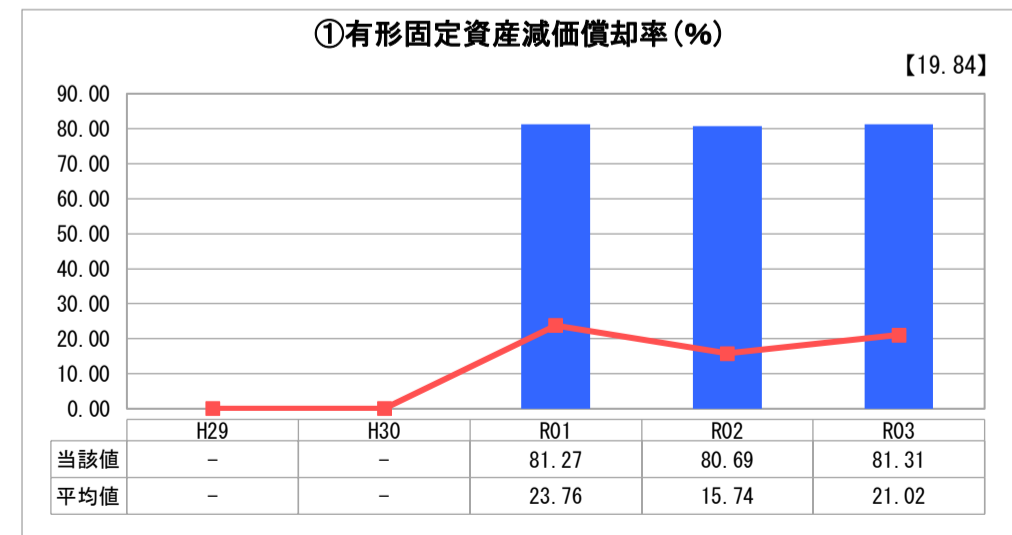
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
4,251	340.96	12.47
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,371	2.18	1,087.61

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【】	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和3年度は、新規職員配置による人件費の増加により経常費用が増加したため経常収支比率が悪化し、全国及び類似団体の平均値を下回る結果となった。また、この要因により経費回収率や汚水処理原価も数値が軒並み前年度より低下している。

日南町では、市町村設置型により町が主体となり合併処理浄化槽の整備と維持管理を行っているため、これらに要する費用が多額となり営業収益のみでは経常費用を賄えておらず、一般会計繰入金への依存が常態化している。

企業債の償還はピークを過ぎ、年々減少してはいるものの短期間で集中的に整備された合併浄化槽の更新需要に備える必要がある。

維持管理にかかる営業費用も、委託料を中心とした費用の増加は避けられない見込みであり、使用料収入を改善する必要がある。

しかしながら、既に県下でも高い使用料水準であるため慎重な議論が必要とされる。

水洗化率も、県内でも低い数値となっており、未だ下水道設備が整備されていない住宅や施設も存在することから、引き続き普及啓発に努めていくとともに、単独浄化槽からの転換も推進していく。

2. 老朽化の状況について

本町では農業集落排水処理施設の整備に併せ、集合処理方式が経済的でない地域において、平成10年代前半に浄化槽整備へ集中的に公共投資している。

同時期に整備した浄化槽は、法定耐用年数を経過しつつあり、付帯設備(フロア等)の取替・修繕は少なからず発生しているものの、本体については、現在目立った不具合は多くない状況にある。

一般的に50年程度は使用に耐えうると言われているが、適正な管理により既存設備を維持しつつ、将来の更新にかかる財源の確保、建設改良費等の平準化について検討が必要である。

全体総括

今後の維持管理費用の増大や使用人口の減少による営業収益の低下は避けられないため、事業の趣旨を踏まえ、浄化槽未整備世帯への普及を進め、水洗化率の向上に努めるとともに、適切な料金設定により財源の確保、経営基盤の安定を図ることが急務である。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。